

春 秋 彩

学長就任に当たって

熊本県立大学長

梅林 誠 爾



熊本県立大学の歴史にとって非常に重要な時期に、菅野道廣前学長の後任として、9月から学長の職を拝命することになりました。学生の皆さんの元気な学びの姿に支えられながら、また保護者の方々のご支援を賜りながら、さらに前学長が残された業績を継承しつつ、教職員とともに職責を果たしていきたいと考えています。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

熊本県は、本学の公立大学法人への移行期を平成18年4月とするこゝとを含む「熊本県立大学改革基本方針」を、先の7月に決定しました。熊本県立大学の改革推進は、42.195キロのゴールが明確に意識されてくる残り10キロに入ったわけです。当事者である大学としまして、9月初旬に設置された熊本県立大学改革推進委員会などの場で、有識者の方々のご意見をお聞きしながら、県立大学としての考えを明確にしつつ、設置者と大学との共同の真剣な検討を通して、よりよい形での公立大学法人への移行を迎え、本学の教育と研究のさらなる発展を期したいと考えています。

平常にあつても改革の時にあつても、大学の本旨は勉学です。学生の皆さんが、本学の取り組みや自主的活動を通して、視野を広げ、夢を育て、一人一人の道を自ら見出し、地域社会の有為な人材として、国際社会、人類社会を共に築く一員としての自己を形成されることを、切に願っています。

Contents

SYUNJUSAI
熊本県立大学・学報

2004.10
VOL.21

- 1 学長挨拶
- 2 改革に向けた取組状況
- 3 教育充実のための取組
- 4 「地域交流センター」始動
- 6 就職状況
- 7 10月以降の就職支援
- 8 学部紹介
- 9 学生の声・サークル便り
- 10 後援会便り
- 11 キャンパス・ニュース
- 12 行事予定、お知らせ